

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	高根沢町			代表者名	神林 秀治
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画課	連絡先電話番号	028-675-8102
担当者役職	係長	担当者氏名	福田 三恵	連絡先E-mail	
住所	329-1229 栃木県高根沢町大字石末2053番地				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	DX推進計画（ビジョン）の策定と推進		
概要	DX推進計画（ビジョン）の策定支援をお願いしたい。（課題の整理方法、町民・職員に理解されやすい目標の設定、資料の作成支援）また、職員へ意識醸成のためのDX研修をお願いしたい。				
支援を求める分野	計画策定支援 AI活用				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年6月13日	支援・助言(実地)	9時00分	17時30分	60
				活動時間（分）	450
2-2. 派遣場所	会場名	高根沢町役場		最寄駅	JR宝積寺駅
	所在地	栃木県塩谷郡高根沢町大字石末2053番地		最寄駅からの交通手段	徒歩（15分）またはタクシー

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	<ul style="list-style-type: none"><li>当町の課題を一つ一つ丁寧にコメントくださったところ。</li><li>デジタルツール導入ありきではなく、効率化に係るマインドや視点を丁寧に教えてくださるところ。</li><li>窓口のDXについて、費用をかけずにすぐできること、費用をかけて検討すること、ステップアップの仕方を助言してくださったところ。</li><li>助言の仕方が、実際使われている最新の具体例を示してくださるので、非常に分かりやすいところ。</li></ul>
アドバイザーへの要望事項	引き続き、計画策定に向けた助言と、課題解決のための助言をお願いしたいです。また、なるべく多くの職員にDXに関する知識をご指導いただきたいと思っています。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	6人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	6				

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本町は、人口3万人以下、職員数200名程度の小規模の自治体であり、職員の多くは多様な仕事を兼務で行っております。そのため、情報システム担当者も、広報・HP・情報セキュリティ・情報システム・統計などの業務を担当しており、DXについて、本腰を入れて理解を深めることも町の課題の整理を行うこともままならない状況です。また、DX推進計画（ビジョン）がないため、各課において目標・目的をもって活動をすることができず、組織内でバラバラにデジタル化が進んでいます。DX推進計画を定め、各職員が自発的に柔軟な思考で動けるような環境づくりを目指したいと考えていますが、本町の規模に適したDX推進計画をどのように策定したらよいか分からず、課題となっています。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	DX推進計画を策定し、町民と職員がDXによって目指す町の姿がイメージできるようなビジョンを発信する（達成見込み時期：令和7年10月）。計画達成に向けて町が一丸となり、職員がそれぞれの立場で試行錯誤することによって、業務がバランスよく効率的に進められるようになり、町民がDX推進による無駄の少ない質の高いサービスを等しく受けられるようになることと、職員と町民一人ひとりの「主観的なウェル・ビーイング」の実現を目標としたい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当町の課題に対して、一つ一つ助言をいただきました。</li> <li>・AIツールの使い方について、教えていただきました。</li> <li>・住民目線の窓口の作り方について、教えていただきました。</li> <li>・マイナンバーカードの活用、ぴったりサービスの活用方法について教えていただきました。</li> </ul>	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民課窓口では、住民の利便性向上のためにオンラインやキャッシュレスをどう進めていけばよいのか悩んでいましたが、まず今すぐ住民のためにできること(トークスクリプトの作成)を提案いただき、合わせてオンライン化へ向けてのステップアップ方法を教えていただいたため、費用と時間をかけずに、おおまかな道筋を立てることができた。</li> <li>・各課、各職員から出された課題に対して、時間の限り解決方法と助言をいただき、新たな気づきを得たり、すぐ取りかかれることを見つけることができた。</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	課題一覧に対して、回答一覧(口頭で言っていたいただいたものを事務局が入力)	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	DX推進計画を策定するための課題を収集し、どんな町を目指すのか方向性などを話し合ったが、計画そのものの作成までには至らなかった。次回までに、町が使用したいキーワードなどを考えて、再度助言を頂く予定になっています。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは実施していません。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DX推進計画を策定し、町民と職員がDXによって目指す町の姿がイメージできるようなビジョンを発信する。計画達成に向けて町が一丸となり、職員がそれぞれの立場で試行錯誤することによって、業務がバランスよく効率的に進められるようになり、町民がDX推進による無駄の少ない質の高いサービスを等しく受けられるようになることと、職員と町民一人ひとりの「主観的なウェル・ビーイング」の実現を目標としたい。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

